

提案説明

【議案第 83 号～議案第 88 号】

本日は、市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用の中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、先の第一回定例会にて、今年度からの桑名駅自由通路整備事業費の継続費をご承認いただいたところでございます。

そこで、東海旅客鉄道株式会社との工事等の施行に関する協議が整いましたことから、今年度から着手のうえ、平成 32 年度供用開始を目指し、工事施行に関する協定の締結について議決を求めるため、臨時会の開催をお願いした次第でございます。

本市の長年の懸案でありました桑名駅周辺の整備につきましては、都市基盤や交通結節点の機能強化を図りながら、市内外から人が集まる賑わいと活力あふれる拠点づくりを進めるため、今年度から、いよいよ本格着手したいと考えております。

また、現在進めております桑名駅西土地区画整理事業と桑名駅自由通路整備事業を一体的に施行することで、地域住民の皆様の安全性・利便性の一層の向上が見込めるものと考えております。

これにより、桑名駅周辺が、市民の方をはじめとする多くの皆様から、本市の玄関口として、また、三重県の北の玄関口にふさわしいと感じていただくため、整備を進めてまいりたいと考えますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、上程になりました議案につきまして、その概要をご説明申し上げます。

議案第 83 号乃至議案第 87 号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」は、いずれも地方自治法第 179 条第 1 項の規定により専決処分したものであります。

まず、議案第 83 号「平成 28 年度一般会計補正予算（第 10 号）」でございますが、歳入から申し上げますと、地方交付税を初めとして、毎年、年度末の 3 月に交付される株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、地方交付税など各種交付金の項目に関して、整理をいたしました。

一方、歳出につきましては、国庫支出金及び市債の整理に伴う財源更正を行いました。

なお、繰入金につきましては、財政調整基金からの繰り入れを増額し、収支の均衡を図ったものであります。

次に、議案第 84 号「桑名市市税条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、地方税法等の一部が改正され、4 月 1 日から施行されることとなったため、専決処分を行ったものです。

内容といたしましては、個人住民税における配当所得等の課税方式の明確化、軽自動車税のグリーン化特例の延長、固定資産税における企業主導型保育等事業に係る地域決定型地方税特例など、所要の改正を行ったものであります。

次に、議案第 85 号「桑名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、市税条例と同様に、地方税法の一部が改正され、4 月 1 日から施行されることとなったため、専決処分を行ったものです。

内容といたしましては、固定資産税と同様に都市計画税における企業主導型保育等事業に係る地域決定型地方税特例など、所要の改正を行ったものであります。

次に、議案第 86 号「桑名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、地方税法施行令の一部が改正され、4月1日から施行されることとなったため、専決処分を行ったものです。

内容といたしましては、国民健康保険税の低所得者に対する軽減措置のうち、所得判定基準の引き上げのため、所要の改正を行ったものであります。

次に、議案第 87 号「桑名市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部が改正され、4月1日から施行されることとなったため、専決処分を行ったものです。

内容といたしましては、扶養親族がある場合の補償基礎額の加算額及び加算対象区分の変更など、所要の改正を行ったものであります。

次に、議案第 88 号「工事施行に関する協定の締結」（桑名市都市計画道路桑名駅自由通路整備事業に伴う関西本線桑名駅自由通路新設及び駅舎改築工事）につきましては、桑名駅自由通路整備事業について、都市計画決定、事業認可といった手続きを経てまいりました。

そこで、引続き進めておりました東海旅客鉄道株式会社との協議が整いましたことから、平成 32 年度の供用開始に向け、東海旅客鉄道株式会社と協定を締結するものであります。

以上、上程の各案件につきまして、大要をご説明申し上げました。
よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

報告

【報告第 5 号～報告第 8 号】

それでは、上程の報告 4 件につきまして、ご説明申し上げます。

まず、報告第 5 号「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出」につきましては、土地開発公社は、平成 29 年 3 月 15 日に三重県知事の認可を受けて解散いたしました。このため、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 15 日までの決算を報告するものでございます。

歳入につきましては、総合運動公園、（仮称）堂ヶ峰公園用地、外田地区スポーツ施設などの用地売却収入のほか、駐車場の貸付収入などであります。

歳出につきましては、主に事務費を支出しております。

また、解散手続きのため、市が債権放棄をしました 13 億 8,063 万円余を特別利益として、また保有していた土地の評価替えのため 16 億 9,624 万円余を特別損失として計上いたしました結果、3 億 2,499 万円余の当期純損失となり、準備金は 1,349 万円余となりました。

次に、報告第 6 号「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの経営状況に関する書類の提出」につきましては、桑名市総合医療センターの平成 29 年度の事業計画に関するものであります。

主な内容を申し上げますと、地域の医療機関からの紹介患者及び救急搬送患者の積極的な受け入れを継続するほか、救急科専門医を配置し、救急医療の充実を図ること、また、地域における周産期医療の拠点として、高度医療及び新生児医療の提供体制づくりを引き続き進めることが示されております。

また、地域医療連携の推進につきましては、地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担と連携

を強化するとともに、医療から介護・福祉への切れ目のないサービスを提供できる体制の整備を進めること、また、在宅患者の急変時には受け入れるよう努めるなど急性期病院として在宅医療の支援を行うことが計画されています。

法人の運営管理体制といたしましては、中期目標、中期計画及び年度計画の着実な達成に向けて、評価委員会による業務実績の評価及びそれを踏まえた業務運営の改善指摘に基づき、継続的な改善のもとでの業務運営を実施するとされております。

次に、報告第7号及び第8号の「専決処分の報告」につきましては、議決により委任を受け、市長が専決処分することができる事項として指定されている損害賠償について、この度、相手方と和解が成立いたしましたので、専決処分し、地方自治法第180条第2項の規定に基づき、ご報告申し上げます。

以上、ご報告申し上げます。

よろしくご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明及び報告は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。(会議録が正式な発言記録となります。)